



創 立 1993年12月1日
 事務局 〒286-0106 成田市取香 500
 ホテル日航成
 田
 TEL/FAXL 0476-24-5044
 例会場 ホテル日航成田内
 TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリー会長のテーマ
 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
 【 会長 シェカール・メーター 】

成田コスモポリタンRCターゲット
 「コロナ禍でも楽しく有意義な
 クラブ運営をめざして」
 [会長：藤崎 康人]

第 1343 回 例会

令和4年4月20 (水)

《子供たちに笑顔届けるプロジェクト》

◇ 点 鐘

藤崎 康人 会長

◇ ロータリーソング

奉仕の理想

◇ 四つのテストの歌

◇ お客様紹介

株式会社AMARA

代表取締役 上田れいこ 様

三木 夏美 様

米山記念奨学生

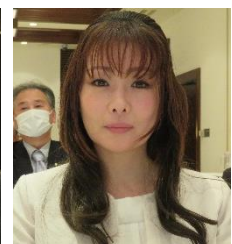
ファワーズ ナウハル ムハマド 様



成田ロータリークラブ

渡邊 孝 様

時崎 広恵 様



◇ ニコニコ BOX

・藤崎 康人 会長

《会長挨拶でお話いたします。》

・高木 正尊 会員



《社会福祉法人にて新事業を開設しました。県の認可もいただき、4月から並木町で就学前の児童を対象に事業所を構えました。》

・村島 義則 会員



《野球部でニコニコいたします。先週の土曜日に2790地区野球が開幕し千葉西RCとの第一試合は7対4の逆転で勝利しました。野球部にご支援をいただいておりますことに御礼をいたします。

今年は2年ぶりにロータリーの甲子園の大会があります。一緒に参加するという方は、担当に連絡ください。》

・長谷川 浩史 会員



《先週、尿路結石を経験いたしました。佐々木朗希投手の完全試合を観戦し終えた帰りから背中が痛みが続き、1週間後の早朝にコロッとでてきました。そして、普段通りにもどりました。》

◇ 黙 禱

4月19日に、当クラブチャーターメンバーである林省三会員がご逝去されました。ここに故人を悼み1分間の黙禱を捧げました。

◇ 会 長 挨拶 藤崎 康人 会長



皆さんこんにちは。本日のお客様は、本日の卓話をお願いしている、株式会社「AMARA」代表取締役の上田れいこ様、です。上田様には、「子供たちに笑顔届けるプロジェクト」、という題目で卓話をしていただくことになっています。また、成田ロータリークラブの渡辺孝様、時崎広恵様ようこそいらっしゃっていただきました。また、今月から、米山奨学生としてファワーズ・ナウハル・ムハマド君が来ることになりました。皆様、ごゆっくりなさってください。

上田様には、卓話、後ほどよろしくお願ひいたします。

4月19日、昨日、亡くなられた、林省三会員ですが、もともと糖尿病で、市内のクリニックに通われていて、糖尿病等の治療を受けられていたようです。昨年12月に両下肢の力が入りにくくなり、あんまり歩けない、という症状で私の外来を受診されました。痛み止め等を処方して様子を見ました

が、正月直後の1月7日に再び、私の外来診療を受診され、病状が進行し、ほとんど歩けない状態で、自宅での生活が困難となられていて、入院してもらいました。入院後はずっと、食欲が出ず、徐々に衰弱されていったような病状でした。先日の滝澤政樹会員に続き、3月4月と現役会員が亡くなられ、会長としては、断腸の思いです。天国で、お二人仲良く過ごしていただければと思います。会員が2名減になってしまい寂しい限りですが、残された私たちは、この成田コスモポリタンロータリークラブを活力あるクラブとして維持していくことが、残された会員全員の責務と思います。寂しいですが、コロナに負けず、親睦を維持しながら元気に活動していきましょう。

本日は、4月の第3例会です。ニコニコの話を少しいたします。

今週の日曜日、4月17日(日)、国際ロータリー第2790地区のロータリー財団委員会の補助金プロジェクトの審査会議が開催され、わがクラブから申請を出していた、カンボジアにおける「地方農村遠隔地における感染症予防プロジェクト(新型コロナウイルス感染症及び水系感染症)」事業に対する補助金申請が認められました。当クラブの30周年記念事業の一つとなるので、うれしく思います。申請に関して、骨を折っていただいた会員、南部様はじめPHJのスタッフの方々に御礼申し上げますとともに、事業の成功を願ってニコニコさせていただきました。

その会場で、地区補助金審査会と同時に、地区のロータリー財団奨学生の選考も行われました。

私は、次年度の地区奨学生学友委員長をやることになっていて、見習い、という立場で、面接試験のお手伝いをいたしました。まず、地区医補助金奨学生希望者3人、その後、グローバル補助金奨学生6人の面接試験でした。面接官は、今年度ロータリー財団委員会寺島委員長、前年度ガバナーの漆原撰子様、ガバナーエレクトの小倉様、今年度奨学生学友委員会委員長の折田様の4人でした。面接時間は、1人40分、スポンサークラブの担当会員10分、合計1人50分でした。それを午前10時開始、午前中2人、午後は13時から連続で6人、面接終了が19時少し前でした。終了後、面接結果の採点集計をして、地区補助金奨学生1名、グローバル補助金3名を選抜しました。私は、お手伝い役数名の1人として、見学をしていたのですが、どの候補者もほとんどの方が、非常に優秀で、きちんとした目標をもって、ずいぶんしっかりしているな、と感じました。この選考会が、奨学生選考の事前審査で、この事前審査で合格後、合格者を日本のTRF本部に報告し、本審査で最終合否が決まるそうです。ぜひ、当地区の選抜者が本審査を通過してくれればと思います。ちょっと長丁場で大変でしたが、非常に勉強にもなり。有意義な時間でした。

また、先週土日は、成田山でも太鼓祭りが3年ぶりに開催されました。幸い雨も降らず、少し肌寒かったですが、3年ぶりの太鼓祭りが無事に終わってよかったです。人出もまあまあだったと思います。私は、参道に少しいたのですが、時々、参道や、境内の太鼓の音がにぎやかに聞こえていました。このまま、祇園祭も開催されることを願っています。

米山奨学生の紹介をするのを忘れてしまいました。大変失礼しました。

今月から、成田コスモポリタンロータリークラブで、米山奨学生のお世話をすることになりました。実は、今年に入ってから、次年度の米山記念奨学委員会の委員長から、連絡が入りまして、成田コスモポリタンロータリークラブで米山奨学生の世話クラブを是非とも受けて欲しいとのことでした。私としては、お願いされれば、できるだけ受け入れたいと思い、藤崎政弘前会長に米山カウンセラーを受けて欲しいと、お声をかけさせていただいたところ、快諾してくださり、ナウハル君の世話クラブとなることができました。後ほど、藤崎政弘会長から、ご本人の紹介があり、ご本人も自己紹介してくれると思います。ということで、そろそろ会長挨拶を終わりにします。

それでは、上田さま、後ほど、卓話をよろしく願いいたします。

◇ 委員会報告その他

◎ 米山記念奨学生紹介 藤崎 政弘 カウンセラー



ファワーズ ナウハル ムハマド 様 紹介

中央学院大学の3年生になります。ニックネーム「ナウハル」君といますので、皆さんぜひ覚えてください。彼はインドネシア出身で16年間の在日ですので日本語はぺらぺら、インドネシア語、英語の3か国語が話せます。そして彼は起業家でも頑張っております。イスラム教徒で現在はラマダン中ですので今日の食事もうるさくですが、日の出から日没まで食事はできませんし、豚肉とお酒もだめです。一年間、彼のお世話をできるように、皆様と懇親を深められますようにどうぞよろしくお願いいたします。

◎ 米山記念奨学生挨拶 ファワーズ ナウハル ムハマド 様



はじめまして。中央学院大学からきましたナウハルです。よろしくお願いいたします。私はインドネシアで生まれて、日本で育ちました。日本の実家は新潟にあります。ほぼ日本人じゃないかとよく言われるのですが、一応インドネシア人です。僕が大学で学んでいる内容は国際ビジネスです。去年起業をしましてインドネシア進出のコンサルティングや人手不足の企業様への外国人雇用の支援をしております。

◎ 米山記念奨学会 奨学金の贈呈

米山記念奨学生のファワーズ ナウハル ムハマド様へ4月度の奨学金が藤崎康人会長より贈呈されました。



◇ 幹事報告 萩原 康宏 幹事



先週のトンガ王国海底火山噴火支援の募金は23,500円ウクライナ支援の募金は30,000円を皆様よりいただきました。クラブからはこれに付け加えて両件共に50,000円にして振り込みをいたします。

- 回 覧：無し
- 例会案内・変更：無し
- その他：



◇ 米山記念奨学会 委嘱状手交

地区ガバナーより、米山記念奨学生の世話クラブとしての委嘱状が届きクラブへ委嘱状が手交されました。また、奨学生カウンセラーとして藤崎政弘会員へ委嘱状が手交されました。



◇ ロータリー財団寄付 ピンバッチ贈呈

ロータリー財団へ寄付をされた、高木信人会員（PHF）へ藤崎康人会長よりポール・ハリス・フェローの感謝状とピンバッチが贈呈されました。



◇ 2022-23 年度 幹事報告 大竹 清治 幹事



次年度の委員会計画は来週の水曜日が提出期限となっております。そして 5 月 11 日に第 2 回の次年度の役員・理事・委員長会議があります。その出欠につきましても提出をお願いいたします。

卓 話 「子供たちに笑顔届けるプロジェクト」

株式会社 AMARA 代表取締役 上田 れいこ 様



皆様はじめまして。本日はよろしくお願い致します。

私はモンゴル国籍です。17 年前に北九州市の日本語学校に入学が決まったことがきっかけで、日本に来ました。

株式会社 AMARA は外国人を企業に紹介し、その後のサポートを行っております。国籍はモンゴル、ベトナム、ネパール、スリランカ、フィリピン、中国になります。紹介できる職種は建設業、介護職などをはじめとする全 14 種ございます。今は海外からの来日が難しいので国内にいる外国人を紹介しております。

会社を立ち上げて 2 年になり紹介した人材数は 80 人以上となりました。起業したのは自分が就職活動中に外国人という理由で内定を取り消された悲しい思いがあったからです。

日本が好きで夢を持って来日した外国人の役に立ちたい、来日した外国人が日本のことを嫌いにならないように外国人と日本人の距離を縮めたいと思いました。

—10年ビジョン—

- ・日本全国で外国人材が働きやすい環境をつくるために毎年 1 支店を増やし、10 支店を目指します。
- ・外国人材のスキルをより高め、より質の高い人材を紹介できる仕組みを作ります。
- ・外国人材に必要な情報を正確に届けられることができる仕組みを作ります。
- ・日本で働きたい方が 1 番早く 1 番質の高い情報を得られる仕組みを作ります。
- ・人を大切にする企業との日本一のネットワークを構築し、フェアと信頼関係の下、外国人材がより安心して仕事と生活ができる紹介先開拓を進めていきます。
- ・人を助けることにやりがいと喜びを感じることでできるスタッフの教育と資格取得の仕組みをつくりま



モンゴルは日本でも相撲などで知られている相撲好きな国です。息子さんが相撲をしている家庭は周りが憧れるほど人気です。面積は日本の4倍広く、人口は40倍少なく、この国の28%は貧困です。

1998年をピークに都市ウランバートルに、貧しい家庭の子供達やアルコール依存症の親を持つ子供達が家を出てマンホールに住み始め、マンホールチルドレンといわれました。

モンゴル全国に広がって社会問題になり日本のテレビでも取り上げられるほどでした。なぜマンホールに住むかというモンゴルの冬はマイナス40度になり、マンホールに住むと暖がとれるからです。

モンゴル出身のお相撲さんや芸能人などの出資や国の支援によりこの10年間でマンホールに住む子供達は居なくなりましたがまだまだ支援を必要とする施設は沢山あり、田舎の方で困っている子供達は沢山います。

私はそのような子供達の勉強道具や学費を支援するボランティア活動を行って20年になります。幼い子供達に笑顔を届けるプロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを行っています。

モンゴルでは、支援がいき渡らない子供達が沢山います。

豊かな暮らしと安全な場所があり、お腹いっぱいにご飯を食べる事ができるようになりますように、このプロジェクトを通じて皆様のご支援を頂ければと思います。



◇ 点 鐘 藤崎 康人 会長

☆ 本日のお料理 メニュー



◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	4月6日	69名	5名	38名	26名	4名		61.76%
本日例会	4月20日	67名	5名	29名	27名	9名	58.46%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022